

Local Area News

従業員の魅力アップを 目指す

ぐんまみらい(信)

ぐんまみらい信用組合(榊博理
理事長、組合員86、935人)で
は、若手後継者を対象に、12月11
日、前橋市・前橋さくらホテルに
おいて講習会を開催した。

テーマは「人の心をつかむ魅力
学」。講師は、株式会社清友代表
取締役宮之原明子氏。宮之原氏は、
インターネットが発達した昨今、
人は何を買つかではなく、誰から
買うかに重点を置く。また、求職
の際も、何をしたいかではなく、
誰と働きたいかへと関心が変化し
ていると語った。



講演する宮之原氏

このような傾向から「商品の魅
力」「販売員の魅力」「企業の魅力」
従業員の魅力」という構図が成り
立つと持論を述べ、魅力ある従業
員を育てることが企業経営におい
て重要であるとアドバイスした。

さらに、魅力ある従業員には共
通して「いつも笑顔」「プラス言
葉」「FOR YOU(あなたの
為に)」という特徴があると紹介し、
この3点の特徴をまねさせること
が魅力ある従業員の育成への近道
であると強調した。

加えて、笑顔の実践方法や
ファーストコンタクトでの重要性
を説くとともに、自身も実行して
きた経験を交え、行動を変えるこ
とで人生がプラスへと変わると力
強く語った。

受験に勝つ食育を学ぶ

群馬学習塾(協)

群馬学習塾協同組合(野口眞光
理事長、組合員17人)では、12月
13日、渋川市伊香保町・オーモリ
において定期的に開催している研
修会を開催した。

講師は桐生第一高等学校調理科
主任神子澤修氏。神子澤氏は、食
べることは人生と述べ、現代の食
事は多様化し物が溢れているため、
しっかりと食生活を見直すことが
非常に重要であると語った。

また、食育基本法が成立する中、
教育面においても食育の必要性が
高まり、「早寝・早起き、朝ご飯」
という標語を掲げ、朝食の重要性
が増している点に注目して欲しい
と述べた。



食育の大切さを語る神子澤氏

脳の活動には、ブドウ糖が大切
で、摂取するにはご飯、パン、麵
類が良く、1日の活動の最初に食
べる朝食のメニューは理に適って
いると説明。したがって、受験生は、
必ず朝食をとることが必要である
と強調した。一方、甘いものの食
べすぎは、結果的に低血糖を招き、
集中力の低下やキレ易い体質とな
る危険性があると述べ、特にジュ
ースの飲み過ぎに注意を促した。

また、毎日の食事で豆類、ゴマ、
わかめ、野菜、魚、しいたけ、イ
モ類を食することで5大栄養素を
とることができると述べ、これら
の頭文字を取って「ま・ご・わ・
や・さ・し・い」と覚え、受験生
にバランスの良い食事を勧めて欲
しいと呼びかけた。

経営革新計画を策定

(協)群馬炊飯センター

協同組合群馬炊飯センター(金
古勝理事長、組合員4人)では、
本会の経営革新等支援事業に取り
組み、中小企業新事業活動促進法
に基づく「経営革新計画」の策定
を進めている。

LAW



アドバイスを受ける金古理事長(右)

専門家として、コンサルファーム群馬株式会社シニアコンサルタンの小泉靖氏を交え、具体的な商品コンセプトや経営計画、新商品の開発スケジュール等について検討を重ね、年度内の計画承認を

目指す。

同組合は、学校給食用の米飯・パンの供給を中心とした事業展開を行っている。しかし、近年、少子化により学校給食数が年々減少しており、新たな販路開拓を行うべく、一般消費者向けに「健康志向」に訴えたパンの新商品開発を行う計画。

新事務所落成

草津温泉旅館(協)

草津温泉旅館協同組合(黒岩裕喜男理事長、組合員104人)では、新事務所が落成し、12月17日より業務を開始している。

県の歩道整備事業や平成24年から施行された草津町景観計画を受け、建て替え工事を決定した。

新事務所は木造2階建てで、建物内部は木の温もりと温かさを感じることでできる空間になっている。2階には最大70名程が利用できる会議スペースも確保されている。

草津の街並みに溶け込むモダンな外観に、内部は訪れた人達がくつろげる空間づくりと設計・デザ

インにはこだわりが随所に見える。また建物をガラス張りにし、働く人とお客様が過ごす空間が見えることで「草津のにぎやかさ」を一目で感じることができるよう工夫されている。



落成した新事務所

企業経営の方向性を示唆

群馬県バス事業(協)

群馬県バス事業協同組合(小林勝市理事長、組合員37人)は、12月18日、前橋市・群馬県公社総合ビルにて「県内の景気動向と企業経営」と題して講演会を開催した。

講師は、コンサルファーム群馬株式会社代表取締役清水邦宏氏。清水氏は、冒頭「アベノミクス

による景気回復は、地域経済に及んでいない」と県内企業等のコンサルティング活動を通じた実感を述べた。さらに最近では、廃業相談が増えている傾向も見られると語った。

こうした厳しい環境の中、企業が生き残っていくには、経営環境に適應することが肝心で、特に、3つの変化(事業内容の変化、取引先の変化、従業員の変化)への対応の重要性を強調した。

また、3つのLLとして、WILL、SKILL、KILLを挙げ、強い意志、能力、過剰な経営資源の廃棄が肝心であると述べ、企業の安定成長を目指して欲しいと呼びかけた。



多くの参加者が聴講